第2886回 Vol.60 No.7 2011年8月25日

創立昭和28年1月8日

TANABE ROTARY

District 2640 田辺ロータリークラブ Club Weekly Bulletin

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-12年度
国際ロータリーテーマ

「こころの中をみつめよう
博愛を広げるために」
-Reach within to Embrace
Humanity-
カルヤン・バネルジー
ＲＩ会長
大澤徳平ガバナー

４つのテスト (FOUR WAY TEST)
言行はこれに照らしてから
(1) 真実かどうか
(2) みんなに公平か
(3) 好意と友情を深めるか
(4) みんなのためになるかどうか

例 会 日 木曜日 12：30
例 会 場 紀伊田辺ｼﾃｨﾌﾟﾗｻﾞﾎﾃﾙ
会 長 伊賀 久記
幹 事 福本 雅彦
会報委員長 柏木 壽夫
http://tanabe-rc.com/

承 認 昭和28年3月2日
事務所 〒646-0031
田辺市湊1073-63
ＴＥＬ 0739-24-2002
ＦＡＸ 0739-26-0264
mail tanabe-rc@helen.ocn.ne.jp

「渡月橋-京都嵐山-」撮影 柏木壽夫会員

●司会者
伊賀久記会長

●ソング
柔

●ゲスト
アサヒビール㈱
大阪統括支社和歌山支店
支店長 枦尾 重幸 様
近畿圏統括本部
営業企画部 水谷 稔 様

本日のプログラム 9/1

廣本 直子 様

次回のプログラム 9/8

会員卓話

古谷 典子 会員

出席報告

	第2884回	第2885回	第2886回
会員数	83名	83名	83名
出席規定免除会員数	10名	10名	10名
出席計算会員数	81名	80名	80名
出席者	66名	60名	64名
出席率	81.48%	75.00%	80.00%
メイクアップ	8名	11名	
修正出席率	91.36%	88.75%	

お祝い

会員誕生日	脇村明
配偶者誕生日	吉田美智子(透)
	野村眞起子(富也)
	稲田洋子(太門)
皆出席	村上(9年) 髙橋(10年)

ニコニコ箱

☆アサヒビール枦尾支店長、水谷さんいらっしゃい。本日よろしくお願い致します。･･････････新井、長井

☆枦尾さん、水谷さん、ようこそ。本日は卓話宜しくお願いします。･････････柏木、植田英、濵口、玉井、川内

☆しょうわ会･親睦活動委員会さん、おかげ様で楽しかったです。ありがとうございました。･･･････････伊賀

☆しょうわ会･新会員歓迎会、多数のご参加ありがとうございました。･･････････････････････竹内、松本

☆しょうわ会楽しかったよ。両人の歓迎会ありがとうございました。･････････････････････新井、植田英

☆歓迎会ありがとうございました。大変楽しかったです。ロータリーで一芸も磨きたいと思います。･･･都志見

☆先週は、歓迎会ありがとうございました。昼と夜の違いがよ～くわかりました。大笑いしたのは久しぶりです。最近、会社と家では暗い話ばかりで･･･ありがとうございました。･････････････････････････豕瀬

☆しょうわ会･歓迎会、盛り上がって楽しかったです。竹内会長、ご苦労様でした。･････････････横田、瀬戸

☆しょうわ会ありがとうございました。気分良く飲んでカサを忘れました。･･････････････････････近藤

☆野村富也さん、米山功労者第4回マルチプルおめでとうございます。･･････････････････････････････伊賀

☆マルチプル頂きました。･･･････････････････････野村富

☆伊賀久記君、ごちそうさま。髙橋君、来月もよろしく。･･渡部

☆伊賀会長･福本雅幹事の勇姿をはじめて見せてもらいました。欠席続きですみません。･･････････････和田

☆次男にはじめての子供が出来ました。(男の子)野村富

☆家内と佐渡へ行ってきました。ひざが痛いです。中松

お知らせ

会長報告

- 野村富也会員が米山功労者第4回マルチプルになられました。財団法人ロータリー米山記念奨学会より感謝状が届いていますのでお渡しします。

幹事報告

- 先週通知しました新会員として推薦されました１名の方への異議申し立てがありませんでした事をご報告致します。
- 9月のロータリーレートは78円です。
- 近隣クラブ会報が届いていますので回覧します。

委員会報告

親睦活動委員会　松本　哲副委員長

・しょうわ会へ兼ねさせて頂いた新会員歓迎会へ参加ありがとうございました。9月3日の家族会もまだまだ参加受付中ですので宜しくお願いします。当日は、バスが午前11時にJR紀伊田辺駅前の弁慶像前を出発します。

職業奉仕委員会　長井保夫委員長

・職業奉仕・国際奉仕・親睦活動の3委員会合同で企画しました「上海視察ツアーの御案内」を皆さんにお渡ししています。日程は、11月3日(木・祝日)～5日(土)の2泊3日です。参加名簿を回覧いたしますので記入お願いします。

プログラム

『適正飲酒セミナー』

アサヒビール株式会社
大阪統括支社和歌山支店　近畿圏統括本部
支店長 **杤尾重幸様** 営業企画部 **水谷　稔様**

お酒を正しく末永く楽しんでいただくためには、やはり正しい知識と理解が必要ではないでしょうか。新聞やテレビを見ても、お酒にまつわる事件・事故は後を絶ちません。このような事を起こした当事者は、普段まじめな方たちがほとんどだと思いますが、なぜこのような事を起こしてしまうのか、このような事例が後を絶たないのか考えますと、個人の問題に加え、お酒についての正しい知識、お酒との正しい付き合い方が理解できていないことも一つの要因ではないかと思います。お酒を通してより豊かな人生を送っていただくために本日のような機会も一助になるのではないかと私は考えています。

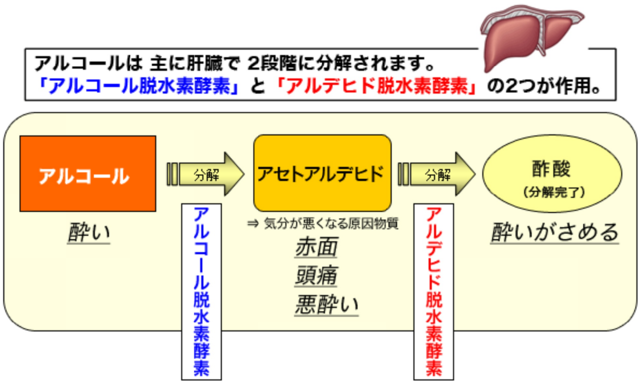
お酒は体の中で分解されると、アセトアルデヒドという二日酔いの原因物質が生成されます。これをすばやく分解できる酵素ＡＬＤＨ２を体に持っているかどうかがお酒の強い弱いのカギなのですが、実は日本人は遺伝的にお酒に弱いのです。元々人間にはこのＡＬＤＨ２が備わっていたのですが、我々日本人は今から２～３万年前に発生した遺伝子変異「ＡＬＤＨ２の欠損」を受け継いでいるために、お酒をあまり飲めない・全く飲めないといった人が約２人に１人の割合で存在するようになりました。この遺伝的性質はモンゴロイド特有といわれ韓国や中国でも同様に存在しますが、一方でヨーロッパやアフリカの人々は本来の資質であるＡＬＤＨ２を備えており、つまり生まれながらにお酒が飲める（お酒に強い）人達であるといえます。他にも性別・年齢・体重など遺伝以外の要因によっても飲めるかどうかは左右されますので、やはりお酒は自分の適量とペースを知って楽しむことが大切です。
次に「酔い」についてお話しますと、一言で言えば「徐々に脳の機能が麻痺していく」状態であるといえます。お酒を飲むと理性を司る大脳新皮質の活動が徐々に低下するため、大脳旧皮質が司る本能が表に出やすくなります。ストレス解消・精神高揚といった状態はこういった脳の働きに由来するのですが、更にお酒を飲んで酔いが進むと次第に大脳から小脳、海馬、延髄と麻痺が広がり、最悪の場合は呼吸不全で死に至る場合もあります。

そこでお酒の適量が大切になってくるのですが、一般に純アルコール約２０ｇが１日あたりの適量といわれており、ビール中ジョッキ１杯５００ｍｌ、日本酒１合１８０ｍｌ程度が目安となります。では約２０ｇのアルコール処理にどのくらいの時間がかかるかですが、体重５０ｋｇの人で３～４時間、体重７０ｋｇの人で２～３時間は少なくともかかりますので、少々仮眠した程度ではお酒は抜けないという事が、良くお分かりいただけるかと思います。

お酒を理解する上で避けて通れない「アルコール問題」については、「未成年飲酒」「飲酒運転」「妊産婦飲酒」「イッキ飲み」「大量飲酒」の５つが代表的な問題として挙げられます。未成年飲酒がもたらす身体面・精神面・社会面への多岐に渡る悪影響、時に社会問題化する飲酒運転やアルコール依存、女性や乳幼児に大きなリスクとなる妊産婦飲酒、お酒を強要したり酔った上での迷惑行為といったアルコールハラスメントなど、このような負の面をしっかり理解し正しくお酒と付き合うことは、これら諸問題の防止に必ず繋がると考えますし、また、人生を豊かにするものとしてお酒を活用できるということにも繋がるのではないでしょうか。

お酒はやはり、「ほどよく、楽しく、いいお酒」でいきたいものです。

【参考：アルコール分解の仕組み】



※「アルコール脱水素酵素」の働きが弱く、アルコールを分解しないと「酔いやすく、さめにくい」。
「アルデヒド脱水素酵素」の働きが弱く、アセトアルデヒドを分解しないと「気分が悪くなりやすい」。